

今月のさがあお豆知識

No.71

マスクについて

新型コロナウイルス感染者の咳、くしゃみなど口腔から放出される飛沫は、大量のウイルスを含んでいます。周囲にいる人にとってマスクは感染予防として重要なアイテムです。

① マスクの定義

マスクとは、口と鼻を覆う形状で、咳やくしゃみの飛沫の飛散を防ぐために使用される、または、ほこりや飛沫等の粒子が体内に侵入することを抑制する衛生用品である。

② 用途

医療用・産業用・家庭用 の3種類に分けられています。

医療用：医療現場で使用される感染防止用のマスク

家庭用：カゼ、ウイルス、花粉、PM2.5対策や防寒・防湿などの目的で日常に使われているマスク。素材や形状、サイズが豊富で、フィルター性能と通気性のバランスが良いため長時間に渡り、快適に使用できるのも特徴



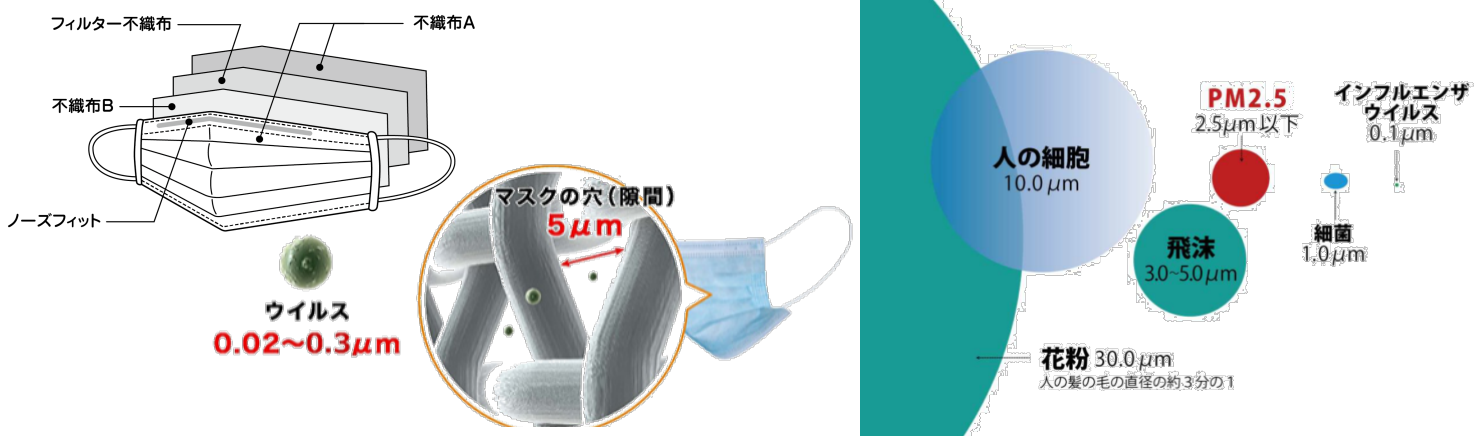
③ 素材

布：ガーゼや綿織物を主体として作られたマスクで、洗濯して使用できるものが多数。高い保湿性と保温性がありますが、ウイルスや菌が透過しやすい欠点があります。

不織布（ふしょくふ）：織らない布を使用した使い捨てマスク。不織布シートの特長として花粉、ウイルスや菌が透過しにくい設計の商品も多数あります。

一般的に不織布のマスクには性能評価としてPEE、VFE、BFE、花粉遮断率99%以上などの表示がされています

一般的不織布のマスクの隙間とウイルスの大きさ



マスクの規格については、国際統一はされておらず、各国での規格試験の方法も異なります。同じ素材でも製品によって性能にはかなりの差があり、不織布でも布より性能が劣る製品も市販されているので、注意が必要です。

正しい予防を行い、自分と周りの人に感染させないように注意しましょう